

授業科目名	国文学特論(2100256)		
時間割名	国文学特論(23117)		
時間割担当	阿尾あすか		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・3		

授業の目標・概要

国文学に関する応用的な専門知識を学ぶ。江戸時代までの古典文学の大半は、毛筆の手書きでくずし字という字体で書かれていた。江戸時代になると印刷技術が発展し、古典文学の普及も進む。本講義では、和装本の仕組みや印刷の技術など、古典籍についての書誌的な事柄を中心に学ぶ。また、毛筆によって書かれたくずし字の読み方についても学ぶ。

学習の到達目標

- 1) 和装本の装飾や装丁、印刷技術など、国文学についての書誌的な知識を修得する。
- 2) くずし字の読解のための基礎的な智識を修得する。
- 3) 手書きで書写してゆく形態が本文に与えた影響を理解する。

授業方法・形式

講義およびグループワーク、一部演習形式で構成する。和本の装丁や装飾についての体験型学習を通して、知識を修得する。くずし字の読解については演習形式で行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 授業の進め方と評価方法、予習の仕方などについて説明する。
- 第2回 古典籍の取り扱いについて 和本の書類
- 第3回 古典籍の取り扱いについて 書誌調査
- 第4回 落款・蔵書印について
- 第5回 料紙装飾について
- 第6回 料紙装飾について
- 第7回 和本の装丁について
- 第8回 和本の装丁について
- 第9回 くずし字について ガイダンス
- 第10～14回 くずし字について 演習
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

定期試験20%、授業中に課す課題の提出20%、振り返りの記述・取り組み等の平常点20%の割合で、総合的に評価を行う。

準備学習・復習及び授

- 1) インターネットなどで和紙の種類や掛け軸・絵巻物の取り扱いなどについて調べておくこと。
- 2) くずし字について演習形式で課題を出す。担当者以外も自分で読んでくること。
- 3) 講義中の体験学習で制作する和本は、完成させて提出する。場合によっては時間外も使って完成させること。

履修上のアドバイス及

「国文学入門」「国文学」「国文学」を履修した後に、受講することがのぞましい。体験学習では汚れてもよい服装またはエプロン・軍手を持参すること。

教材・教科書

講義中に教材プリントを配付する。

参考書

児玉幸多編『くずし字読解辞典』（東京堂出版）・くずし字学習支援アプリKuLA